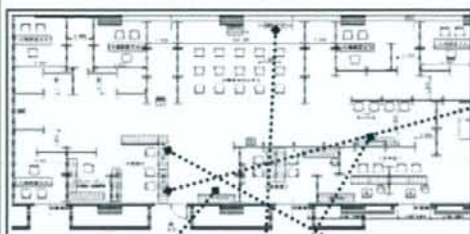


「さいたま市HIV即日検査・相談室」の概要

●検査・相談室平面図●



●受付窓口●



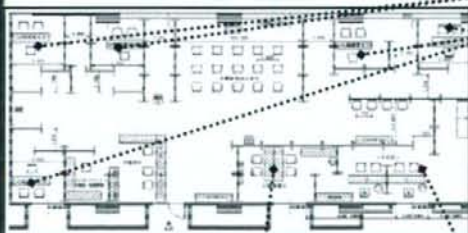
●啓発資材提供●



●再受付窓口●

「さいたま市HIV即日検査・相談室」の概要

●検査・相談室平面図●



●相談室 (5室) ●



●検査室●



●採血室●

さいたま市HIV即日検査・相談室」の特徴

① 即日検査であること

- ・近年、ニーズが高い即日検査の実施

② 日曜日の午後に実施していること

- ・NPOとの連携による休日検査の実施
- ・日曜・午後の実施

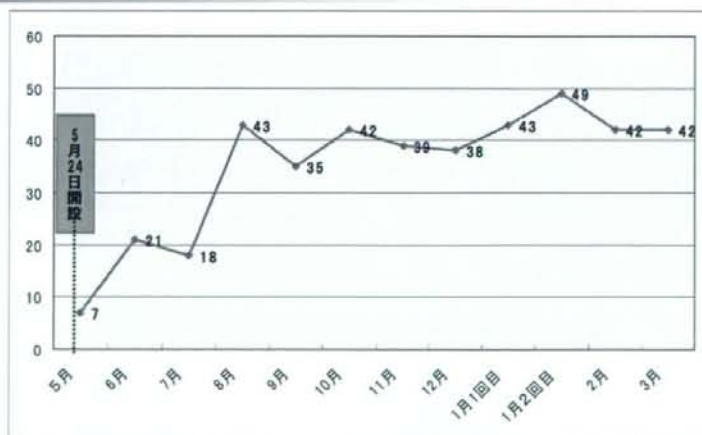
③ ターミナル駅前での実施

- ・JACK大宮という比較的認知度の高い施設での実施
- ・大宮駅から徒歩1分以内という高い利便性

④ NPOの経験を活かした相談の実施

- ・HIV/AIDSの分野で経験豊富なNPOのスキルの還元
- ・検査前後の相談や予防&啓発の実施

受検者数の推移

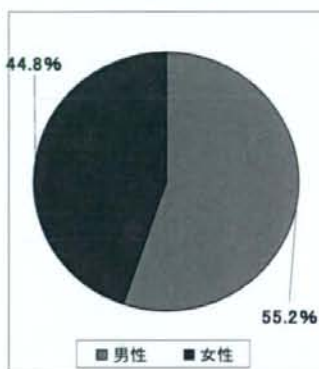


- ★ 5月開設以降3ヶ月で、毎回定員を超える受検
- ★ 1年間(12回の実施)で、合計419名への受検機会の提供

検査後アンケートの分析①

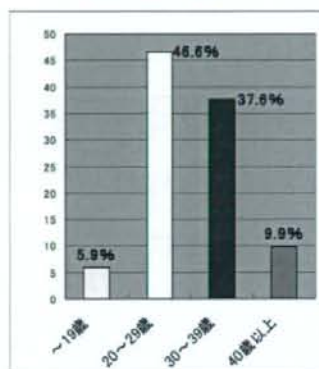
○2008年5月～1月までの受検者対象（335件）
 ○受検者への質問票（アンケート）、問診による集計

1、性別



★男女比はほぼ1:1

2、年齢

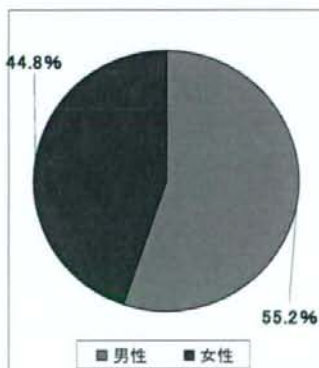


★平均年齢は、30.18歳

検査後アンケートの分析①

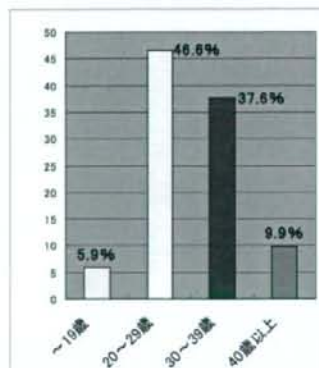
○2008年5月～1月までの受検者対象（335件）
 ○受検者への質問票（アンケート）、問診による集計

1、性別



★男女比はほぼ1:1

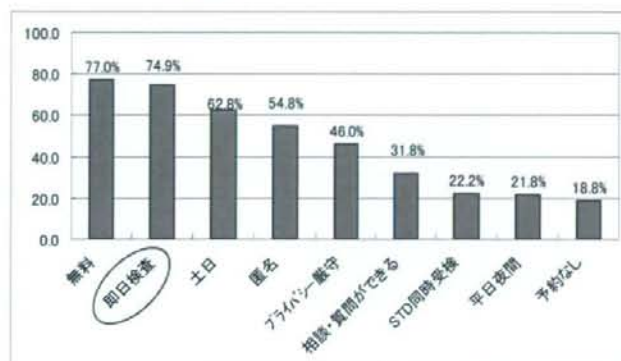
2、年齢



★平均年齢は、30.18歳

検査後アンケートの分析③

5、検査に期待する条件

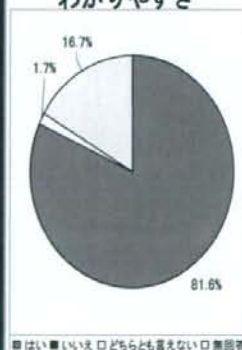


★即日、土日検査のニーズが高い（約75%の受検者が回答）

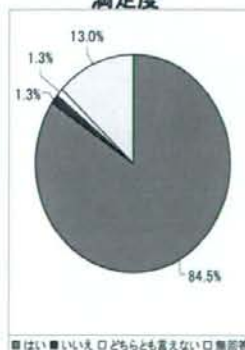
検査後アンケートの分析④

6、相談への評価

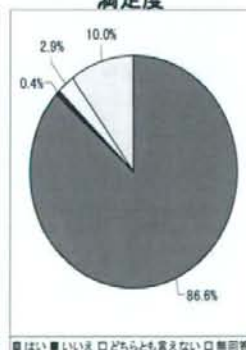
①検査前相談の
わかりやすさ



②検査後相談への
満足度

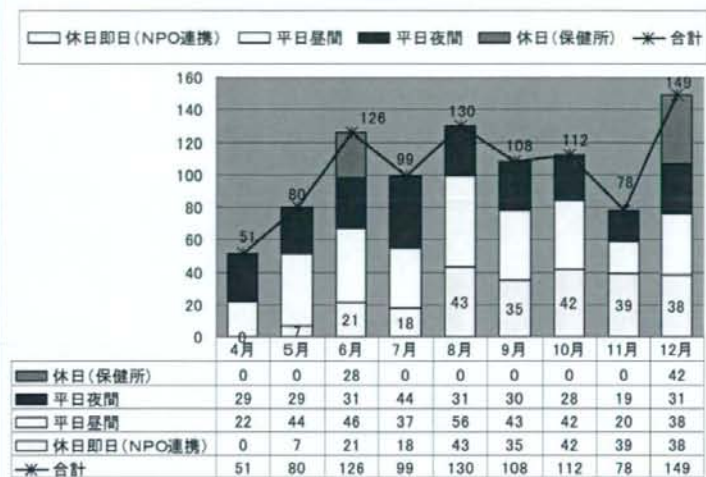


③電話受付・相談への
満足度



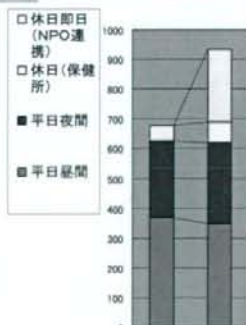
★NPOの持つ相談スキルへの評価を確認

さいたま市月別受検者数の推移（月別）



昨年度との比較

検査件数 ※4月～12月の数値での比較



陽性件数

	19年	20年
平日昼間	1	2
平日夜間	4	0
休日(保健所)	0	1
休日即日(NPO連携)	0	1
合計	5	4

	19年	20年
平日昼間	369	348
平日夜間	255	272
休日(保健所)	52	70
休日即日(NPO連携)	0	243
合計	676	933

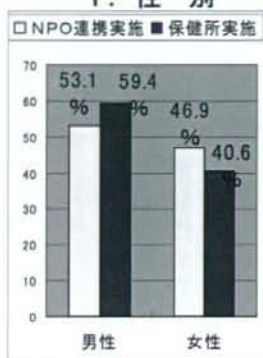
★さいたま市における検査件数の大幅増加

★休日即日(NPO連携)で判明した陽性者の人数も増加
(1月に1名、確認検査陽性で計:2名)

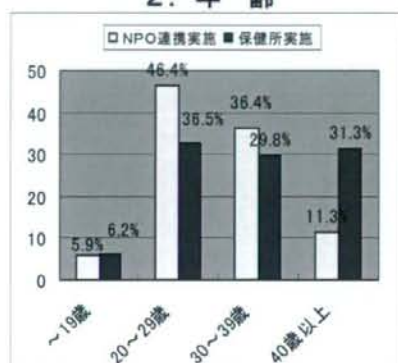
NPO連携－保健所実施間の比較①

NPO連携：休日即日
保健所：平日昼間、平日夜間、休日

1. 性別



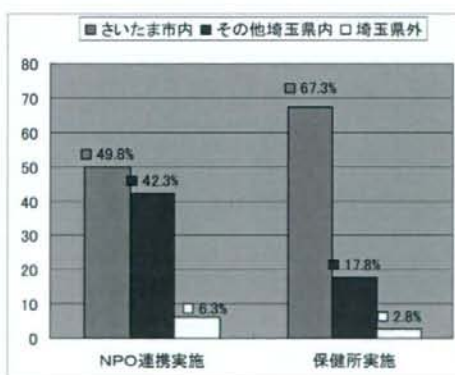
2. 年齢



★20代と30代の受検が多い

NPO連携－保健所実施間の比較②

3. 居住地域

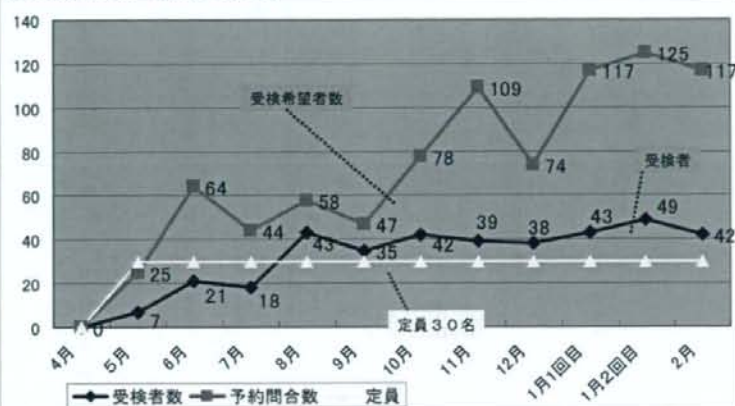


★NPO連携による実施は
県内居住(さいたま市以外)
の受検が多かった

★ターミナル駅周辺という立
地条件、休日即日などの要素
から市内だけでなく県内居住
者からのアクセスがある。

受検者数と受検希望者数の推移

※ 2008年4月～2月までの集計



- ★ 受検定員に対し、予約問合せが2～3倍と多い
- ★ 拠点の増加や利便性の追求が必要となっている

成果

- 「行政－NPO連携によるHIV検査相談事業」の新規事業化
 - ・ エイズ予防指針内の「NPO等との連携強化」の具体的事例を達成できた。
- 地方公共団体が重視している「検査相談・情報普及」に貢献
 - ・ NPO連携による事業実施は、地方公共団体の抱える人的資源の不足、ノウハウの不足などを補完できる手段となりうる。

平成 20 年度 個別施策層へのエイズ対策およびHIV 対策に関するアンケート調査・質問票

**エイズ予防計画（平成 18 年 4 月改正）にもとづく
個別施策層へのエイズ対策およびHIV 対策に関するアンケート調査**

「先天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」（通称：エイズ予防指針）（18 年 3 月 2 日公示）に基づき、貴自治体または基盤所におけるエイズ対策の取り組みについてお尋ねします。本件内の該当するところに○をつけ、括弧等の記述欄には貴自治体の状況をご記入ください。

【注】回答内容は統計的に処理されますので、個別の自治体が特定されることはありません。

アンケートの集計結果は、平成 20 年度の研究報告書（平成 21 年 3 月発行予定）にて報告させていただきます。

回答期限 9 月 30 日（火）

【A】個別施策層全体へのエイズ対策について

問 1. 貴自治体では、個別施策層へのエイズ対策としての層に対する取り組みを実施していますか、また、今後どの層に対する取り組みを実施する予定でしょうか、あてはまる欄すべてに○をつけて下さい。（複数回答可）

個別施策層	実施している対象層	実施予定の対象層
1 青少年		
2 外国人		
3 同性愛者		
4 性風俗産業に従事者および利用者		
5 特定の対象に絞っていない		

【B】同性愛者（MSM）へのエイズ対策への取り組みについて

問 2. 同性愛者（MSM）を対象にどのようなエイズ対策を計画し実施していますか、あてはまる欄すべてに○をつけて下さい。（複数回答可）

施策	取り組んでいるもの
① マンパワー養成	
② 啓発冊子活動	
③ 地域活動促進	
④ 調査研究	
普及啓発および教育	
検査・相談体制の充実	
医療提供体制の再構築	

平成 20 年度 個別施策層へのエイズ対策およびHIV 対策に関するアンケート調査・質問票

問 3. 貴自治体の管轄地域内でのエイズ動向調査の結果についてお尋ねします。平成 18 年、19 年の報告数を表枠内にお書きください。（図解を問わずお書きします）

番号	以下の件数、人数についてお書きください。	人数（18 年）	人数（19 年）
(ア)	HIV 抗体検査件数	件	件
(イ)	L（ア）内の陽性件数	件	件
(ウ)	新規感染者報告数（合計）	人	人
(エ)	L（ウ）の内、同性間性的接触による感染者	人	人
(オ)	新規患者報告数（合計）	人	人
(カ)	L（オ）の内、同性間性的接触による患者	人	人

問 4. 現時点で同性愛者（MSM）へのエイズ対策を実施する上で何を重視していますか、最も重視するものを 5 つまで選んで○をつけて下さい。

<input type="checkbox"/>	1 同性愛者（MSM）およびゲイ・コミュニティの基本的な状況把握
<input type="checkbox"/>	2 啓発資料の普及
<input type="checkbox"/>	3 啓発資料の配布／設置（アウトリーチ）
<input type="checkbox"/>	4 検査・相談の情報量および利用促進
<input type="checkbox"/>	5 保健所職員等専門家への研修会の実施
<input type="checkbox"/>	6 知識・性行動・HIV 感染リスク要因等の行動変容に関する調査
<input type="checkbox"/>	7 予防啓発ワークショップの開催
<input type="checkbox"/>	8 ピアカウンセリング（当事者どうしの相談）を実施している機関との連携
<input type="checkbox"/>	9 同性愛者（MSM）が利用しやすい STD クリニックの開設
<input type="checkbox"/>	10 同性愛者（MSM）が利用する店舗経営者等への研修会の実施
<input type="checkbox"/>	11 その他[]

問 5. 貴自治体の 20 年度のエイズ対策の事業計画をまとめた文書（「事業計画書」等、あるいはそれに相当するもの）はありますか。

<input type="checkbox"/>	1 はい	その中に同性愛者（MSM）へのエイズ対策の項目はありますか。
<input type="checkbox"/>	2 いいえ	
<input type="checkbox"/>	1 はい	ありですか。
<input type="checkbox"/>	2 いいえ	

平成20年度 個別施設等へのエイズ対策および行政・NPO連携に関するアンケート調査-質問票

問6. 貴自治体では、同性愛者（MSM）へのエイズ対策に対する予算を計上していますか。
（※年度別にお答え下さい）予算化されていない場合は、0とお書きください。

年度	全体のエイズ対策予算	MSMへのエイズ対策予算
(ア)平成19年度	千円	千円
(イ)平成20年度	千円	千円

以下は、問1において、同性愛者（MSM）に対する取り組みを「実施している」とご回答された自治体の層別に、エイズ予防策の項目に沿ってお尋ねします。
（※同性愛者不慮死例に関する特別調査対象自治体、県の調査方針については回答資料を参照ください。）

【原因の究明】

問7. 貴自治体では、地域の実情に応じて、同性愛者（MSM）に対する追加的な調査研究を実施していますか。（指針第一の二）

<input type="checkbox"/>	1 はい
<input type="checkbox"/>	2 いいえ

【発生予防及び再入店防止】

問8. 保健福祉担当関係者を招いて同性愛者（MSM）へのエイズ対策としてのHIV/STDの専門的な相談窓口（電話相談含む）はありますか。（指針第二の五）

何という機関ですか。

<input type="checkbox"/>	1 ある
<input type="checkbox"/>	2 ない

問9. 検査・相談の利用の機会に関する情報提供に際するため、貴自治体が発行（または配布）している HIV/エイズ啓発パンフレットやホームページなどにおいて同性愛者（MSM）を対象に実施している電話相談（相談内容含む）を載せていますか。（指針第二の五）

<input type="checkbox"/>	1 している
<input type="checkbox"/>	2 していない

平成20年度 個別施設等へのエイズ対策および行政・NPO連携に関するアンケート調査-質問票

問10. 患者や同性愛者（MSM）の心理的ケアや社会的背景に配慮した相談のため、同性愛者によるピアカウンセリング（当事者による相互相談）を利用していますか。（指針第二の五）

<input type="checkbox"/>	1 している
<input type="checkbox"/>	2 していない

問11. 保健福祉におけるHIV検査の業務体制についての情報を提供するなど、同性愛者（MSM）が検査を受けやすくなるための特約の配慮をおこなっていますか。（指針第二の五）

それほどのような内容ですか？

<input type="checkbox"/>	1 している
<input type="checkbox"/>	2 していない

問12. 「検査・相談機関において」検査や相談を受けやすくするために、スタッフを研修して、同性愛者（MSM）の心理的・社会的背景に十分配慮し、偏見/差別なく対応していますか。（指針第二の五）

<input type="checkbox"/>	1 している
<input type="checkbox"/>	2 していない

【医師の提供】

問13. 「医療機関等において」同性愛者（MSM）へ適切な医師を提供するための医療関係者への研修の機会を提供していますか。（指針第三の三）

<input type="checkbox"/>	1 している
<input type="checkbox"/>	2 していない

問14. 同性愛者（MSM）へ適切な医師を提供するために医療関係者への対応手引書（具体的な対応マニュアル）の作成/配布をしていますか。（指針第三の三）

<input type="checkbox"/>	1 している
<input type="checkbox"/>	2 していない

平成20年度 個別協働型へのエイズ対策および行政・NPO連携に関するアンケート調査・質問票

ここからは、すべての自治体の方にお知らせします

問18. 現在、同性愛者(MSM)へのエイズ対策を実施する上でどのような困難や問題を考え
ていますか。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい)

<input type="checkbox"/>	1 普及啓発の具体的な方法がわからない
<input type="checkbox"/>	2 同性愛者(MSM)への施設がある
<input type="checkbox"/>	3 同性愛者(MSM)に関する知識がない
<input type="checkbox"/>	4 コミュニティや当事者とながらルートがない(NGO/キーパーソン等)
<input type="checkbox"/>	5 MSM対策を推進することについて、住民の理解が得られるかわからない
<input type="checkbox"/>	6 MSM対策を実施することについて、行政の必要が得られるかわからない
<input type="checkbox"/>	7 予算の不足がたない
<input type="checkbox"/>	8 他の業務で多忙である
<input type="checkbox"/>	9 その他()

【C】行政とNPOの連携について

ここからは、一般的なエイズ対策についてあつかいします。抜粋に出てくる「エイズNPO」とは、HIV/エイズの問題に取り組むNPO法人などの団体(任意団体も含む)を指します。

問19. エイズNPOとの連携状況についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○をしてください。)

実施	連携事項
<input type="checkbox"/>	1 エイズ対策に関する行政計画の立案・提言にエイズNPOが関与
<input type="checkbox"/>	2 行政とエイズNPOによる懇談会や協議会の開催
<input type="checkbox"/>	3 行政とエイズNPOの協働によるイベント開催
<input type="checkbox"/>	4 職員に対する研修を実施
<input type="checkbox"/>	5 普及啓発をNPOに委託
<input type="checkbox"/>	6 検査等をNPOに委託
<input type="checkbox"/>	7 相談業務をNPOに委託
<input type="checkbox"/>	8 その他()

平成20年度 個別協働型へのエイズ対策および行政・NPO連携に関するアンケート調査・質問票

【普及啓発及び教育】

問15. 普及啓発及び教育の方法として、同性愛者(MSM)を対象とした(HIV感染リスクを
減らすための)行動実習プログラムを行っていますか。(指針第七の一)

<input type="checkbox"/>	1 行っている
<input type="checkbox"/>	2 行っていない

問16. HIV感染リスクを減らすために、同性愛者(MSM)に役立つ情報の提供として、同性
愛者(MSM)向けの普及啓発資料を開発・作成していますか。(指針第七の二)

<input type="checkbox"/>	1 している
<input type="checkbox"/>	2 していない

問17. NGO等が実施する感染予防のための普及啓発事業が円滑に行えるよう支援していま
すか。(指針第七の一)

<input type="checkbox"/>	1 している
<input type="checkbox"/>	2 していない

「している」のは、具体的にどのような内容ですか。

(あてはまるものすべてに○をつけて下さい)

<input type="checkbox"/>	1 活動費の助成・補助
<input type="checkbox"/>	2 事務所や活動場所の提供・賃貸
<input type="checkbox"/>	3 備品や機材の提供・貸与
<input type="checkbox"/>	4 NPOに関する研修会や講習会の開催
<input type="checkbox"/>	5 講師や専門家の派遣
<input type="checkbox"/>	6 交通の補助の提供(NPO交差点の開催など)
<input type="checkbox"/>	7 行政に関する情報の提供
<input type="checkbox"/>	8 活動情報発信機会の提供(広報誌、掲示板掲載、ホームページ掲載など)
<input type="checkbox"/>	9 その他()

平成20年度 個別施設層へのエイズ対策および行政・NPO連携に関するアンケート調査-質問票

問20. 個別施設層向けのエイズ対策をエイズNPOと連携して実施していますか。

<input type="checkbox"/>	1 はい	↑ どの対象層に対して実施していますか。	<input type="checkbox"/>	1 青少年
<input type="checkbox"/>	2 いいえ		<input type="checkbox"/>	2 外国人
			<input type="checkbox"/>	3 同性愛者
			<input type="checkbox"/>	4 性風俗産業の従事者および利用者
			<input type="checkbox"/>	5 特定の対象に絞っていない

問21. エイズNPOに業務委託する場合、法人格を持っていることが前提条件ですか。

<input type="checkbox"/>	1 はい
<input type="checkbox"/>	2 いいえ

問22. エイズNPOに期待する役割についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○を
してください。)

<input type="checkbox"/>	1 行政ではできない活動になる
<input type="checkbox"/>	2 行政のサービスを量的・質的な面で補完する
<input type="checkbox"/>	3 行政の代行業務をおこなう
<input type="checkbox"/>	4 行政施策のチェック機能を果たす
<input type="checkbox"/>	5 普及啓発をNPOに委任
<input type="checkbox"/>	6 政策提言・立案への関与
<input type="checkbox"/>	7 コミュニティとの関係を調整する
<input type="checkbox"/>	8 その他()

平成20年度 個別施設層へのエイズ対策および行政・NPO連携に関するアンケート調査-質問票

問23. エイズNPOとの連携を實現していくうえでどの課題点や課題についてうかがいます。(あ
てはまるものすべてに○をしてください。)

<input type="checkbox"/>	1 エイズNPOの存在の位置が難しい
<input type="checkbox"/>	2 行政のパートナーとなる可能性のあるエイズNPOがあまりない
<input type="checkbox"/>	3 特定のNPOに業務委託の場合、競争基準が難しい
<input type="checkbox"/>	4 信頼構築に際して、行政とエイズNPOの責任範囲や役割分担が明確でない
<input type="checkbox"/>	5 エイズNPOとの協働による効果などの数値あるのかわからない
<input type="checkbox"/>	6 委託したことがない
<input type="checkbox"/>	7 エイズNPOに業務委託する場合、法人格を持っていることが前提条件となる (任意団体には業務委託できない)
<input type="checkbox"/>	8 その他()

問24. 本調査票に対して、ご意見/ご質問がありましたら、お書き下さい。

記入 年月日	年 月 日	該当するものに○をつけてください。 政令指定都市 中核市 保健所政令市
自治体名		
記入者 お名前	職種	
連絡先 住所		
電話	FAX	
e-mail		

ご協力ありがとうございました。

添付資料⑤：「さいたま市即日検査相談室」検査アンケート

ID: _____

さいたま市HV(エイズ)即日検査相談室・アンケート

このアンケートは、当検査室を改善していくために活用させていただきます。可能な範囲で結構ですので、どうぞご協力ください、お願いいたします。

■ あなたについて教えてください。

- 性別 男 女
- 年齢 _____ 歳
- お住まいはどこですか？
 さいたま市内 埼玉県内 海外

■ 検査を受けるきっかけや、検査の種類について教えてください。

- この即日検査のことをご存知になりましたか？(複数回答可)
 はい いいえ どちらともいえない
 (さいたま市ホームページ、HV検査マップ、その他のサイトからのほか) _____
- 受検期間
 ①検査場所への相談(電話相談、来所相談)
 ②検体採取
 ③検体検査の結果待ち
 ④検査結果の受け取り
- 受検方法
 ①セルフ検査(検査キット)
 ②検査官による検査
 ③検査官による検査(検査官が検体を採取する)
- 検査の種類
 ①抗体検査
 ②核酸増幅検査
 ③抗体検査と核酸増幅検査の併用検査

■ 今回の検査を受けた理由は何でしたか？(複数回答可)

- 検査を受けた理由
 ①検査場所が近いから
 ②受検時間が空いたから
 ③検査料金が安いから
 ④検査結果がすぐわかるから
 ⑤検査結果が当日わかるから(即日検査)
 ⑥その他(_____)
 ⑦その他(_____)

■ これまでにエイズ検査を受けたことがありますか？

- はい いいえ どちらともいえない
- どこで受けましたか？(複数回答可)
- ①病院・診療所
 - ②さいたま市立検査所(日本赤十字)
 - ③さいたま市立検査所(市民センター)
 - ④さいたま市立検査所(保健センター)
 - ⑤他の保健所や検査機関
 - ⑥その他(_____)
 - ⑦その他(_____)

■ 検査に対してのご意見をください。

- 次のことは、エイズ検査を受けるきっかけになりましたか？(複数回答可)
 ①土・日曜日の検査
 ②平日夜間の検査
 ③即日検査
 ④無料の検査
 ⑤無料の検体採取
 ⑥プライバシーが守られること
 ⑦検査結果がすぐわかること
- エイズ検査を受けるときに即対応したいと思う情報は
 ①検査場所の案内
 ②検体採取の案内
 ③検査結果の案内
 ④検査結果の受け取り

■ 今回の検査を受けたときの感想をお聞かせください。

- 検査を受けたときの感想
 ①検査場所がきれいだった
 ②検体採取がスムーズだった
 ③検査結果がすぐわかった
 ④検査結果がわかりやすかった
 ⑤検査結果が正確だった
 ⑥その他(_____)
 ⑦その他(_____)

■ 今回の検査を受けたとき、何かあったりよかったですか？

- 良かった理由
 はい いいえ どちらともいえない
 →具体的に
 ①検査結果がすぐわかった
 ②検査結果がわかりやすかった
 ③検査結果が正確だった
 ④その他(_____)

■ 今回の検査を受けたとき、何かありましたか？

- あった理由
 はい いいえ どちらともいえない
 →具体的に
 ①検査結果がわかりにくかった
 ②検査結果が正確でなかった
 ③検査結果がすぐわからなかった
 ④その他(_____)

9. その他ご意見等

(アンケートに)に対する
 不安、疑問、質問
 (アンケートに)に対する
 不満、苦情
 その他

10. この検査会場に対する感想をお聞かせください。

- この検査会場の場所はいかがですか？
 ①いい ②どちらともいえない ③悪い
- この検査会場の雰囲気はいかがですか？
 ①いい ②どちらともいえない ③悪い

11. プライバシーの面で安心して検査を受けられましたか？

- プライバシーの面で安心して検査を受けられましたか？
 ①はい ②どちらともいえない ③いい
- スタッフの対応は丁寧でしたか？
 ①はい ②どちらともいえない ③いい

12. 所要時間は適切でしたか？

- 所要時間は適切でしたか？
 ①はい ②どちらともいえない ③いい
- 検査料の割増は十分でしたか？
 ①はい ②どちらともいえない ③いい

13. 検査結果の説明や相談は十分でしたか？

- 検査結果の説明や相談は十分でしたか？
 ①はい ②どちらともいえない ③いい
- 電話受付時の説明は十分でしたか？
 ①はい ②どちらともいえない ③いい

以上で終わります。
 ご協力ありがとうございました。

このアンケートは、当検査室を利用された方に、検査に関するニーズや感想をお伺いし、検査・相談の方法を改善していくために活用させていただきます。

本アンケートは匿名で、結果は統計的に処理され個人が特定されるような情報は一切含まれません。なお、統計的に処理した後の結果は、この事業の報告等に使用させていただきます。

<このアンケートのお願い(会社名)>
 さいたま市HV(エイズ)即日検査・相談室
 電話番号: 049-2384-0011(12~20時)
 メール: occur@city.saitama.jp

※本アンケートは、検査結果がわかるまで、即日検査相談室に立ち寄り、検査結果を待つ必要があります。

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌・書籍名	巻号	出版年	ページ
河口和也	『「文化」と「権力」の社会学』	広島修道大学学術 交流センター研究 叢書	140号	2008 年	P9- P161

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業

同性愛者等への有効な予防介入プログラムの普及に関する研究

平成 21(2009)年 3 月 31 日 発行

研究代表者 嶋田 憲司

特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会

164-0012 東京都中野区本町 6-12-11 石川ビル 2F

TEL: 03-3383-5556 FAX: 03-3229-7880

E-mail: occur@kt.rim.or.jp URL: <http://www.occur.or.jp>

厳禁無断複製転載© 特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会